

きれいで汚い吉野川

奈良県の吉野川。奈良県の南の方に流れている。私は小学生の時毎年夏に、吉野へ行つた。空気はおいしく、すがすがしく、水と木のおいがる。とても居心地が良く、ずっといたい。そんな気持ちになれる私の好きな場所だ。

透明で川底まで透き通り、アマゴが泳いでいるのが見える。そんなきらきら光っている川に飛び込む。夏というのに、水は冷たく気持ちが良い。潜ってアマゴを追いかける。速くて捕まえられないに決まっている。けれど楽しくて楽しくて、何度も何度も川に飛び込み、魚を追いかける。なつかしい思い出だ。

毎年六月、私の家では田植えをする。お父さんとおじいちゃんが田植えをし、私は苗を育てていた苗箱を洗う。用水路に苗箱を放り

奈良県立青翔中学校 二年

小橋 礼奈

投げる。私も用水路に足をつっこみ苗箱を洗う。ぞうりを流され、あわてて追いかける。用水路の水は汚く、くさい。時々、ビニール袋やたばこのすいがらが流れてくる。どうかしてほしい。この水のおかげで稲が育ち、おいしいお米が食べられるはずなのに。こんなに汚い水で育てている稲なんて、食べたくない。用水路の水は村の池から流れてくる。「池の水汚い。」とおばあちゃんに話すと「この池の水はもとをたどれば吉野川から流れてきている水ももらっていて、吉野川分水つていうんだよ。」と教えてくれた。そして「この吉野川分水がなかったら、うちの米は作れない。ありがたいもの。」とも教えてくれた。私は、あのきれいな吉野

川とこの用水路の水が同じだなんて信じられなかった。

私はいったい吉野川から家の田んぼまで何km流れて、こんな汚くなるのか調べた。大淀町で吉野川の水を取水し、導水幹線水路五・二五kmを通り、御所市で東と西に分水され私の家の方へは、西の西部幹線水路を十・四九km北上し、葛城市を一・八五km流れ家の田んぼまでは吉野川から合計十七・五九kmの距離を流れていることがわかった。

約十八km流れる間に、人が川にごみを捨てるなどして、汚くなっていると考えられる。私は毎日おいしいご飯をあたりまえのように食べている。それは吉野川の水のおかげだと知った。私はこれ以上、川が汚くならないように水の大切さを忘れないようにしていきたい。そして、私にできることからやっつけていこうと思う。町の一斉清掃に参加したり、毎日のシャワーでは一回一回水をとめ、水の使いすぎに注意したり、お風呂のお湯は洗濯するときに使ったりして水の使いすぎに注意したい。その他に一体どんなことができるだろうか。

もうすぐ田植え。今年も私は田植えを手伝おうと思う。

田んぼには一面に水がはり、たくさんのカエルやカブトガニが住むようになる。